



発行「トゲチヨ会津ネットワーク」事務局
国土交通省阿賀川河川事務所工務課
NPO法人会津阿賀川流域ネットワーク
〒965-0830 会津若松市西年貢1丁目7番45号

第4号

◆2007. 4. 13(金) 発行◆

本号4ページ

本年の総括	1
トゲチヨを学ぶ会・研究者発表	2
トゲチヨを学ぶ会・坂下小4年生の発表	3
新聞記事・お知らせ・会の動き	4
流域学講座第5回 ～手を振る～	

～本年総括そして未来へ～

今日、私たちの生活から距離を置いてしまった水文化、水環境は言うまでもなく全ての生活の基本であり、全ての生物の生命の源である。

この水に係る事由については点としてとらえるべきではなく、流域として取り組むべきが正意である。

しかし「水百態」の言葉どおり水は多様に富むことであり、核とするものが必要である。全国的にも稀少で、会津の豊かな水を表す湧き水・清流に生命を永くおくトゲチヨをシンボルとして会津流域の水環境を考える会を、昨秋10月に発足させた。

(会は20余りの団体、個人、行政で組織された。)

その後、会はイトヨの生息地の現地見学、学習会、イトヨフォーラム、世話人会などを行った。催しには、会員外の参加もあった。とくに、フォーラムでの地元喜多方市内の小学生の水環境への取り組みには会場より温かい拍手が沢山あった。

新年

を迎えて、会は更に地域との交流と意識の高揚に努めた。

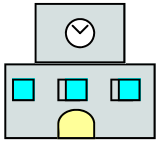
2月20日に会員である会津坂下町において「トゲチヨを学ぶ会 in ばんげ」を開催、地元小学校の研究発表・専門家によるイトヨ考察、地域とのディスカッションなどが行われた。(その結果については2、3ページで紹介する)

また、「トゲチヨを学ぶ会 in ばんげ」開催の後に、イトヨ保全手法の依頼、新会員加入などの動きもあった。

本会は短期に多くの活動を行い、成果を得ていると自負している。

この事は短期だからこそその成果を得ているのか、長期でも得られ続けられるのかは不透明だが、一層の努力で流域の水環境をトゲチヨをシンボルとして注視し続けることが肝要であると考えられる。

この途切れることのない水への思いが豊かな会津を護る基本であると考え、この思いを翌年に継ぐものである。



トゲチョを学ぶ会inばんげ

◆2月20日開催◆

平成19年2月20日本来ならば大雪の季節なのに、雪もなく晴天にも恵まれて会場となった会津坂下町民体育館研修室は用意された椅子では足りなくなるほどの盛況、およそ130余名の参加者にてトゲチョを学ぶ会はスタートしました。

開会では会津坂下町沼木助役より「トゲチョが会津の川や池で元気に泳ぐ日が一日も早く来ることを期待します。町の天然記念物の青木のイトヨが昔のように元気よく泳ぐように知恵を貸して欲しい、会が頑張ることが会津の水環境全体を護ることになる。」との挨拶を頂きました。

続いて発表が行われました。発表者は魚類研究者の3名の方々でした。いづれの方も所属は建設技術研究所の方々です。

川村先生の発表

わき水にすんでいる魚

わき水の池や水路の特徴

- ・水温が一年を通してほとんど変わらない(夏は冷たく、冬は暖かい)
- ・流れが緩やか
- ・水が透き通っている
- ・底に泥や砂石が多い

わき水の池の中

わき水の池

イトヨ

スナヤツメ

わき水の池がでやすい場所

◆会津の魚いろいろ◆

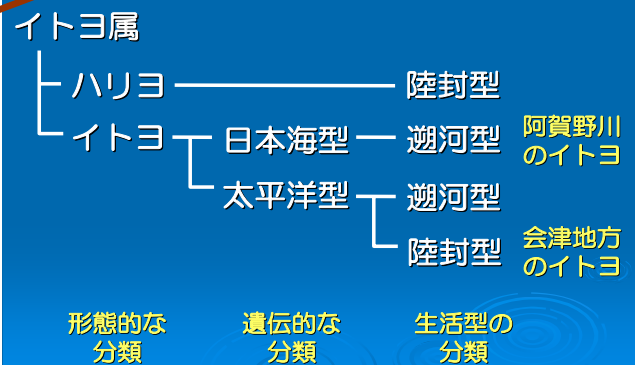
魚は自分に合った環境を利用して生きている。環境は多岐にわたるが、餌、逃避場、水温、流速、深さなどが重要である。流れにも多様性が求められる。他に外来魚の問題などについてもお話がありました。

田頭先生の発表

◆会津地方のイトヨの保全に向けて◆

日本におけるイトヨの分類を形態・遺伝生活型に分類できると考えられる。イトヨはそれぞれの環境に合わせて進化した。とくに会津地方の陸封型イトヨの生態について詳しいお話がありました。

日本のイトヨの分類

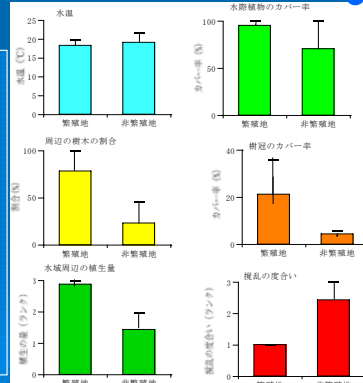


繁殖地と非繁殖地における環境の比較

イトヨが確認された15地点中8地点が繁殖場所として利用。

繁殖地と非繁殖地の環境を比較した結果、周辺の樹木の割合、樹冠カバー、周辺の植生量、攪乱の影響度合いの4項目が有意に異なった。

→安定した場所がイトヨの繁殖場所として利用されていると考えられた。



加藤先生の発表

◆イトヨの分布と生息環境◆

本年度調査結果からの解析と考察について詳細なデータよりのお話がありました。また話題として、かつてのイトヨの生息環境を調べるなどが今後の保全につながるのではとの提案も話されました。

会津坂下小学校4年生による発表

会津坂下小学校4年生の皆さんは、総合学習において「川・水」を主たるテーマに学習をされています。会場では代表者による4つのテーマの発表がありました。

発表では御父兄が黒衣としてお手伝いをされ、ほほえましさに会場より沢山の温かい拍手がありました。

植物チーム

うえの ま ゆこ ふるかわ みらい おばらゆきな えがわ

◇上野真侑子 ◇古川未来 ◇小原侑奈 ◇江川さくら

よく見たり、触れたりすることで草花に興味をもった。草を用いて遊びができる事を知った。生活に草を利用していることを知った。（ヨモギの例）



微生物チーム

かみたけはらきょう か わたなべりょうへい やまだ とも き さとう けんた
◇上竹原京香 ◇渡部稜平 ◇山田智貴 ◇佐藤健太

微生物は身近にいる。微生物は汚れを食べる。微生物はとても大切な生きものだを知った。しかし、洗剤などを流すと微生物は死んでしまう。川をきれいにするために自分達ができることから始めよう。



水生生物チーム

さいとう こんどうもなみ しまかげふみか
◇齋藤ありさ ◇近藤萌波 ◇島影郁佳

水底の水生昆虫を調べた。多くの種類がいることを知った。水生昆虫は水環境の違いによっている場所が違っていることを知った。また、水を汚すことは簡単で清くするのは大変だとわかった。



フィッシュチーム

おおたけりょうへい さとう まさかず いがらしも
◇大竹凌平 ◇佐藤真和 ◇五十嵐萌々

川にはどんな魚が、その魚はどんな生き方をしているのかに興味をもった。川のつくりや流れによってすむ場所の違いがわかった。名前の由来もおもしろいと思った。鯉は味が濃いのでコイ。肥えているからコイ。山女はとても美しいので女の字がついた。などを知った。



新聞記事

トゲチヨ学会いんぽんげ

070224 福島民友



070221 朝日新聞

生態・繁殖地など明らかに

あがかわ

流域学講座

第5回

手を振る

春は手を振るときでもある。別れに手を振る季節でもある。
 学び舎に、ともだちに手を振り、惜別と向き合うときでもある。
 怪しく手を振ることもある。額田王のように《あかねさす・・・君が袖振る》
 今は誰も見ていない。「ネエネエ私よ、ネエ～私よ」で手を振る。王のような
 手の振りもある。
 手を振るとは未来の扉を開ける動作であり、それを応援する動作でもある。
 (注・怪しいサインの場合もある)
 知らずのうちにトゲチヨを激減させておいて、歌の文句じゃないけれど
 「今は幸せかい」「苦勞かけたね」と言いよる私たち。
 “手を振る「さよなら」と言える度胸もなく見捨てたくせに”と醒めたセリフのあなた
 たち。“いやいやと手を振るどころか「あなた達が元気でこそ、私たちも元気なのです”
 と大きく発する私たち。
 そのしらけた言葉に涙を流し水位を上げるトゲチヨたち。
 春は手の振りの揺れる季節でもある。

(坂下 諭)

お知らせとお願い

会則によりもうすぐ総会が開かれます(第14回)
 平成19年度は更なる会の活動が期待されます。
 総会は会運営の礎です。活発な総会を期待します。
 御準備お願い致します。

阿賀野川水系阿賀川下流・新潟県五泉市で、
 トゲウオ科の希少種イバラミヨの保護活動
 を行っている、NPO法人五泉トゲソの会が結成10年
 を記念して、トゲウオ記念講演会を予定しています。
 講師は森誠一さん他の方です。
 5月20日(日)午後1:00～五泉市ガーデンホテル
 「マリエール」参加料は無料とのことです。
 多くの会員が参加されることを期待します。

トゲチヨネットワーク 会の動き

会員である会津坂下町では町指定天然記念物青木
 のイトヨ生息地の、より豊かな生息環境を目標とした
 整備を青木地区主体で行われます。
 整備案として、
 1、集落案内図にイトヨ生息地を図示し加える。
 2、指定理由看板にわかりやすい解説を加える。
 3、生息地の改修整備をする。
 以上の事業行為は、会の連携の中で行われます。
 御助力をお願いします。

トゲチヨ通信はホームページでも見ることもできます

阿賀川河川事務所HP



トゲチヨ会津ネット通信

